

輝きを放つ3人のピアニストが奏でる
一夜限りの協奏曲の祝祭



©N.Ikegami/TSO

鈴木 愛美

Manami Suzuki

小井土文哉

Fumiya Koido

谷 昂 登

Akito Tani

Concerto
Festival

©井村重人

©Misaki Kano

[指揮] 沼尻竜典

[管弦楽] 東京交響楽団

ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調 [小井土文哉]

M. Ravel: Piano Concerto in G major [Fumiya Koido]

R. シューマン: ピアノ協奏曲 イ短調 作品54 [谷昂登]

R. Schumann: Piano Concerto in a minor, Op. 54 [Akito Tani]

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58 [鈴木愛美]

L. v. Beethoven: Piano Concerto No. 4 in G major, Op. 58 [Manami Suzuki]

2026.9.2 (水) 19:00開演 (18:20開場/21:00終演予定)

東京オペラシティ コンサートホール 京王新線[初台駅・東口]に直結

7:00p.m., Wednesday, September 2, 2026 at Tokyo Opera City Concert Hall

S¥11,500 A¥9,500

※料金には消費税が含まれております。 ※特別割引につきましては裏面をご覧ください。

※先行販売で満席となった席種は、以降販売されません。

お
申
込
み

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 324-075]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 31075]

4月18日(土)10:00一般発売 ジャパン・アーツぴあオンラインチケット: 4月11日(土)

主催:公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 マネジメント: ジャパン・アーツ

協賛: **IHI** 堀口製茶 

鹿児島堀口製茶/和香園のお茶の
会場販売・サンプリングなどを予定

三者三様、それぞれに強い輝きを放つ三人のピアニスト。

彼らがいま最も聴いていただきたいピアノ協奏曲を、至高の共演者とともにお届けする、祝祭に満ちた一夜。その瞬間にしか生まれない響きを、ぜひ会場でお楽しみください。

Manami Suzuki, Fumiya Koido and Akito Tani Concerto Festival



©井村重人

鈴木愛美 (ピアノ) Manami Suzuki, Piano

第12回浜松国際ピアノコンクール日本人初の第1位、および室内楽賞、聴衆賞、札幌市長賞、ワルシャワ市長賞を受賞。2023年、第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞、INPEX賞、第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞、あわせて、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞を受賞。これまでに、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、大阪フィル、関西フィル、日本センチュリー、名古屋フィル、全国各地の主要オーケストラと共演するほか、国内外で幅広く演奏活動を展開。今後、読響、N響とも共演予定。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)首席卒業。東京音楽大学大学院修士課程に特別特待奨学生として学ぶ。浜松国際ピアノアカデミー、霧島国際音楽祭に参加。



©Misaki Kano

小井土文哉 (ピアノ) Fumiya Koido, Piano

日本音楽コンクール、ヘイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール(イギリス)をはじめ、国内外の多数のコンクールで優勝を果たす。2022年5月には英ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団のソリストとして英国ツアーを行い好評を博した。国内では読売日響、東京フィル、東響、日本フィルハーモニー交響楽団、シティフィル、パシフィックフィル、日本センチュリー交響楽団、京響、仙フィル等と共演。第21回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第1位。第35回青山音楽賞受賞。英BBCラジオ3、NHKクラシック倶楽部やNHKFMリサイタル・パッシオ等国内外のメディアに出演。桐朋学園大学を首席卒業、ソリストディプロマコースを経て、イタリア・イモラ音楽院を修了。現在同音楽院ポスト・ディプロマコースに在学中。

2014年より霧島国際音楽祭に参加。第37回霧島国際音楽祭賞受賞。



©井村重人

谷 昂登 (ピアノ) Akito Tani, Piano

第90回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、第20回浜松国際ピアノアカデミーコンクール特別賞、第17回チェコ音楽コンクール第1位など、国内外の多数のコンクールにて入賞。これまでに読売日響、東響、東京フィル、広響、新日本フィル、シティフィル、パシフィックフィルなどと共演。2025年、世界的弦楽四重奏団ハーゲン・クアルテットと共演。

これまでに宗次徳二奨学基金、ロームミュージックファンデーション、江副記念リクルート財団、江崎スカラシップの支援を受ける。

現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース(特待生)、および2023年9月よりケルン音楽大学在学中。

2017年より霧島国際音楽祭に参加。第38回霧島国際音楽祭賞並びに堤剛音楽監督賞を受賞。第45回霧島国際音楽祭では、クリスマス祝祭管弦楽団鹿兒島公演、東京公演にてソリストを務める。



©Ayane Shindo

沼尻竜典 (指揮) Ryusuke Numajiri, Conductor

神奈川フィル音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。国内外で数々のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、リューベック・フィルとのコンサートの双方において多くの名演を残した。16年間にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、ミヒャエル・ハンベの新演出による《ニーベルングの指環》を含め、ワーグナーの主要10作品をすべて指揮。14年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

東京交響楽団 (管弦楽) Tokyo Symphony Orchestra



©N.Ikegami/TSO

1946年東宝交響楽団として創立。文部大臣賞をはじめとした日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。川崎市、新潟市と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開する他「こども定期演奏会」や「アジア・プロジェクト」等の多角的な活動も注目されている。新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。ウィーン楽友協会をはじめ海外公演も数多く行う。ITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45台カメラを用いた《第九》公演を配信し注目を集めた。第3代音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として高く評価されており、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、2023年には《エレクトラ》が第1位に選出された。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。2026年4月より第4代音楽監督としてロレンツォ・ヴィオッティが就任。

◀割引チケット・車椅子席のご案内▶ジャパン・アーツぴあにて受付

◎シニア割引(公演当日65歳以上):

S席を¥10,500、A席を¥8,600でお求めいただけます。

◎車椅子の方は、ジャパン・アーツぴあコールセンターへお問合せください。

公益財団法人ジェスク音楽文化振興会

<http://www.jesc-music.org> X(旧Twitter) / facebook / instagram

【次のことをあらかじめご了承のうえ、チケットをお求めください】

①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケット購入後のキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れると、長時間ご入場をお待ちいただくこととなります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等電子機器の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売はトラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。